

科目名	文学国語			単位数	2単位
学科名	国語	学 年	2 学年	予定時数	70
1 学習目標					
日本語を用いて記載された文章について、主旨や主題をつかむ能力をはぐくむ。また、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、自ら進んで表現することで、言語能力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。					
2 指導の重点					
【知・技】日本語の特徴について理解を深め、正しい意思疎通のための効果的な使い方を身に着ける。					
【思・判・表】表現者の主旨を理解し、ときには問題意識をもち、考察する態度を涵養する。					
【主体的態度】自ら進んで文章にあたり、文章を理解しようとしている。					
3、学 習 内 容					
【1学期】	明日をひらく：「少なくとも最後まで歩かなかった」（読む3書く1） 表現を味わう：「身内ほど厄介なものはない」（読む3書く1） 小説を楽しむ：「ナイン」（読む7書く2） 明日をひらく：「そとみとなかみ」（読む4書く1）				22 時間 書くこと 5 読むこと 17
【2学期】	小説を楽しむ：「晴れた空の下で」（読む4書く1） 古典の世界：「児の飴食ひたること」（読む2書く1） 社会に生きる：「鞆」（読む7書く1） 表現を味わう：「ぼくのお母さん」（読む4書く1） 古典の世界：「かぐや姫の昇天」（読む3書く1） 小説を楽しむ：「待合室」（読む6書く1） 恋のうた：「現代の恋・近代の恋・古典の恋」（読む2書く2）				36 時間 書くこと 8 読むこと 28
【3学期】	文化を味わう：「夏の月」（読む3書く1） 文化を味わう：「共感と驚異」（読む3書く1） 古典の世界：「桐壺」（読む3書く1）				12 時間 書くこと 3 読むこと 9
教科書	新編 文学国語（大修館書店）				
副教材					

評 価 基 準				
評価項目・対象	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	評価比重
学 習 姿 勢	○	○	◎	20%
実 習	○	◎	○	10%
小 テ ス ト	◎	○	◎	10%
定 期 考 査	○	◎	○	60%
評価の重点	【知・技】日本語の特徴をよく理解し、文脈によって使い分けることができる 【思・判・表】表現者の意図や主題を捉え、考察や要約をすることができる 【主体的態度】積極的に授業に取り組み、課題などに取り組み、提出している			